



岡山理科大—モンゴル科学アカデミー共同調査隊の1日 (2015年8月7日～30日)

まだ明らかになっていない恐竜の謎を解き明かすには、一にも二にも化石を発掘することです。右垣教授ら岡山理科大生物地球学部のメンバーは、昨年からのモンゴル科学アカデミー古生物学研究センターと共同で、モンゴル・ゴビ砂漠での調査を進めています。1日を写真で紹介します。

◇ ◇ ◇

7:00 起床、身支度

隊員たちは各自で出発準備。水は大事に使う

8:00 朝食



大きなテーブルで一緒に食べる。予定を打ち合わせる大事な時間でもある

8:30 出発



その日の仕事を確認したら、リュックサックに調査道具を入れ、それぞれの仕事場へと歩く。遠い時は四輪駆動車で。水はたっぷり持って行く



場所：モンゴル・ゴビ砂漠
南ゴビ県

メンバー：日本側4人、モンゴル側7人

今回の目的：地質調査、恐竜の骨と足跡の調査、分析用資料の採取



9:00～13:00 化石探し、地質調査

化石を探すときは、ひたすら下を向いて歩く。化石の破片を見つけるのは簡単だが、体の骨が繋がって埋もれている化石はそう簡単には見つからない。経験や勘をフル活用して注意深く歩く。地質調査や以前見つけていた化石の発掘、足跡化石の測量なども大切な仕事だ

13:00～15:00 昼食、昼寝

昼食の後は昼寝。最高気温は33度。あまりにも暑いので車の陰などで体を休める

15:00～19:00 午前の仕事の続き



化石を掘るときは細心の注意を払う。周りの地層との関係も細かく記録。分析用の資料を採取した場合はきちんとメモする

19:00～22:00 夕食、調査のまとめ

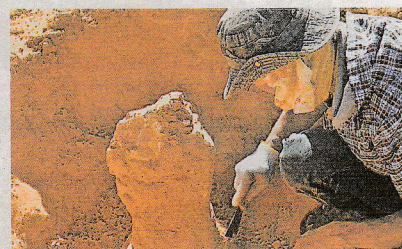
夕食には羊の肉がよく出てくる。ビールを飲みながら見上げる星空はとてもきれいだ。流れ星や人工衛星もよく見える。調査結果は忘れないうちにメモする

23:00 就寝



テントの中で寝る

2015年の発掘成果



植物食恐竜プロトケラトプスの子どもの全身骨格の発掘に成功!